

第二級陸上特殊無線技士試験問題

(注) 解答は、答えとして正しいと判断したものを一つだけ選び、答案用紙の答欄に正しく記入（マーク）すること。

法規 12問
無線工学 12問 } 24問 1時間

法 規

〔1〕 基地局を開設しようとする者は、どうしなければならないか。次のうちから選べ。

1. 無線局の運用開始の予定期日を届け出る。
2. 主任無線従事者を選任する。
3. 無線設備を設置し、その旨を総務大臣に届け出て検査を受ける。
4. 総務大臣の免許を受ける。

〔2〕 再免許を受けた固定局の免許の有効期間は何年か。次のうちから選べ。

1. 5年
2. 4年
3. 3年
4. 10年

〔3〕 電波法に規定する「電波」の定義として正しいものはどれか。次のうちから選べ。

1. 30万メガヘルツ以下の周波数の電磁波をいう。
2. 100万メガヘルツ以下の周波数の電磁波をいう。
3. 300万メガヘルツ以下の周波数の電磁波をいう。
4. 500万メガヘルツ以下の周波数の電磁波をいう。

〔4〕 無線局（総務省令で定めるものを除く。）の免許人は、主任無線従事者を選任したときは、当該主任無線従事者に選任の日からどれほどの期間内に無線設備の操作の監督に関し総務大臣の行う講習を受けさせなければならないか。次のうちから選べ。

1. 5年
2. 1年
3. 6箇月
4. 3箇月

〔5〕 無線従事者が免許証の再交付を受けようとする理由に該当しないものは、次のうちのどれか。

1. 免許証を失った。
2. 免許証を汚した。
3. 氏名に変更を生じた。
4. 住所に変更を生じた。

〔6〕 第二級陸上特殊無線技士の資格を有する者が、陸上の無線局で人工衛星局の中継により無線通信を行うものの多重無線設備の外部の転換装置で電波の質に影響を及ぼさないものの技術操作を行うことができるのは、空中線電力何ワット以下のものか。次のうちから選べ。

1. 100ワット
2. 50ワット
3. 25ワット
4. 5ワット

第二級陸上特殊無線技士試験問題

法 規

〔7〕 次の記述は、陸上移動業務の無線局が無線電話により相手局を呼び出す場合に順次送信すべき事項及び送信回数を掲げたものである。□内に入れるべき字句を下の番号から選べ。

- ① 相手局の呼出名称 3回以下
② こちらは 1回
③ 自局の呼出名称 □

1. 1回
2. 2回以下
3. 3回
4. 3回以下

〔8〕 一般通信方法における無線通信の原則として無線局運用規則に規定されているものはどれか。次のうちから選べ。

1. 無線通信に使用する用語は、できる限り簡潔でなければならない。
2. 無線通信は、迅速に行うものとし、できる限り速い通信速度で行わなければならない。
3. 無線通信は、長時間継続して行ってはならない。
4. 無線通信は、試験電波を発射した後でなければ行ってはならない。

〔9〕 無線局の免許人が電波法若しくは電波法に基づく命令又はこれらに基づく処分に違反したときに総務大臣が行うことがある処分はどれか。次のうちから選べ。

1. 再免許を拒否する。
2. 3箇月以内の期間を定めて無線局の運用の停止を命じる。
3. 6箇月以内の期間を定めて使用する電波の型式を制限する。
4. 3箇月以内の期間を定めて通信の相手方又は通信事項を制限する。

〔10〕 総務大臣が無線局に対して臨時に電波の発射の停止を命ずることができるのはどの場合か。次のうちから選べ。

1. 無線局の発射する電波の質が総務省令で定めるものに適合していないと認めるとき。
2. 免許状又は登録状に記載された空中線電力の範囲を超えて運用していると認めるとき。
3. 発射する電波が他の無線局の通信に混信を与えていると認めるとき。
4. 運用の停止の命令を受けている無線局を運用していると認めるとき。

〔11〕 固定局の免許状は、掲示を困難とする場合を除き、どの箇所に掲げておかなければならないか。次のうちから選べ。

1. 無線局のある事務所の見やすい箇所
2. 主たる送信装置のある場所の見やすい箇所
3. 受信装置のある場所の見やすい箇所
4. 通信室内の見やすい箇所

〔12〕 無線局の免許人は、免許状に記載した住所を変更したときは、どうしなければならないか。次のうちから選べ。

1. 総務大臣に無線設備の設置場所の変更を申請する。
2. 遅滞なく、その旨を総務大臣に届け出る。
3. 免許状を総務大臣に提出し、訂正を受ける。
4. 免許状を訂正し、その旨を総務大臣に報告する。